

お知らせ

洪水を安全に流下させるために長良川河口堰では 2日連続でゲート全開操作をおこないました

1. 概要 長良川河口堰では、台風20号の影響による洪水を安全に流下させるため、8月24日（金）13時19分にゲートを全開にしました。その後、長良川の堰地点の流量が全開操作実施の基準流量毎秒800立方メートルを下回ったことから、塩水遡上を防止するため、同日20時47分に全開操作を終了し、オーバーフロー操作に切り替えました。

翌日25日（土）に低気圧の影響により長良川が増水に転じたことから、洪水を安全に流下させるため、25日13時14分に再びゲートを全開にしました。その後、長良川の堰地点の流量が全開操作実施の基準流量毎秒800立方メートルを下回ったことから、塩水遡上を防止するため、同日19時53分にゲート全開操作を終了し、オーバーフロー操作に切り替えました。



2. 状況 8月23日から25日にわたる降雨の影響から2回の全開操作を行いました。

流域平均累計雨量	120mm（8月23日11時から25日10時）	
堰最大流入量	毎秒約990立方メートル （24日15時40分）	毎秒約930立方メートル （25日15時10分）
全開操作開始時刻	24日13時19分	25日13時14分
全開操作終了時刻	24日20時47分	25日19時53分
全開操作継続時間	7時間28分	6時間39分

※上記の流量等は速報値であり、今後変更になることがあります。

今回の全開操作は、平成7年7月の河口堰運用開始以降154回目・155回目です。

運用開始以降最大の出水は、平成16年10月台風23号による洪水であり、忠節地点毎秒7,667立方メートルの流量を観測しています（国土交通省水文水質データベースより）。

3. 配布先 中部地方整備局記者クラブ、岐阜県政記者クラブ、三重県政記者クラブ、第二県政記者クラブ（三重県）、桑名記者クラブに同時配布します。

4. 問合せ先 独立行政法人水資源機構 長良川河口堰管理所

管理課長 中蘭（なかぞの） 電話0594-42-5012（代）

長良川河口堰のホームページはこちらを検索

HP

長良川河口堰 検索

過去の
管理情報→



長良川河口堰
のゲート操作→





ゲート全開操作開始後の長良川河口堰（堰下流側）
（1回目） 8月24日14時撮影



ゲート全開操作開始後の長良川河口堰（堤防より高い位置にゲートを引き上げ）
（1回目） 8月24日14時撮影



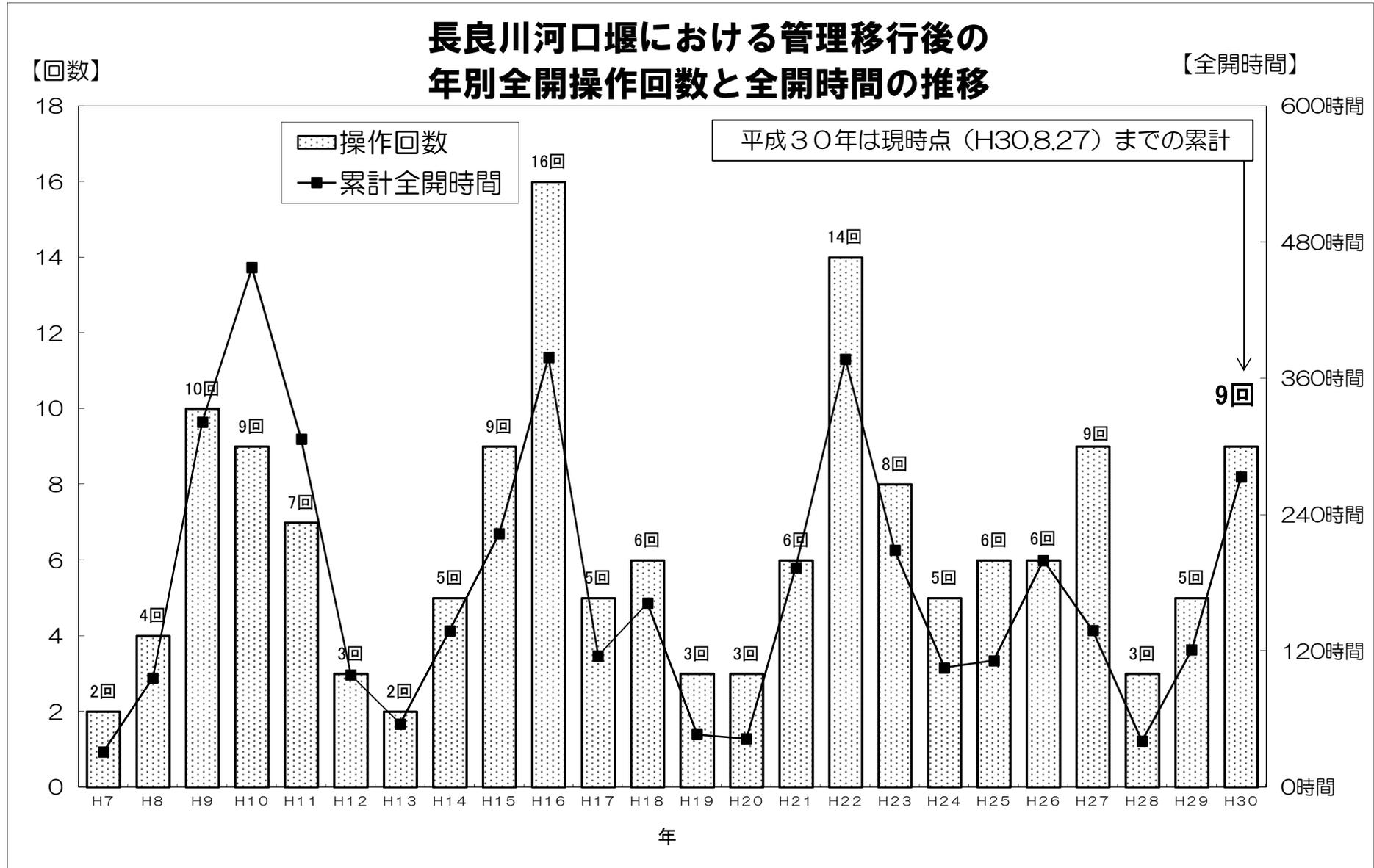
ゲート全開操作終了後の長良川河口堰（オーバーフロー操作に切り替え）
（2回目）

8月26日 7時撮影



ゲート全開操作終了後の長良川河口堰（オーバーフロー操作に切り替え）
（2回目）

8月26日 7時撮影



※現時点（H30.8.27）までの操作回数： 155回

※累計全開時間：4242時間 03分